

議案外質問(11月30日) 山口清明議員

公職選挙法違反

虚偽報告

政治資金規正法違反

## 市立病院の譲渡先、「偕行会」をめぐる数々の疑惑

# 市の責任で真相の調査・解明を

11月30日の市議会本会議で日本共産党の山口清明議員は、8年前に市立病院を譲渡された医療法人「偕行会」をめぐる数々の疑惑について、市の責任で調査・解明するよう求めました。

### 政治家絡みの疑惑、過去には不正請求、所得隠しも

名古屋市は2010年、地域住民の反対を押し切って、市立城西病院(中村区)を、15億円余で同法人に譲渡しました。

しかし同法人をめぐるのはこの間、①自民党の工藤彰三・国土交通政務官と、国民民主党の岡本充功元厚生労働政務官の選挙運動に同法人の職員を派遣(公職選挙法違反の疑い)②工藤政務官の後援団体で、同法人の会長が会長を務める「彰友会」が、政治資金パーティの収支を政治資金収支報告書に記載せず(政治資金規正法違反の疑い)③法人の社員総会や理事会を5年間以上開かず、架空の「議事」内容を、愛知県に報告一など数々の疑惑が浮上しています。



譲渡された城西病院  
(中村区、同法人HPより)

同法人は過去にも、傘下の病院が、医療保険が適用されない治療で診療報酬を不正請求し、約7億円(名古屋市分は3億円)の返還が決定。2011年には、6800万円の所得隠しで特定医療法人の承認が取り消されるなど不祥事が絶えません。

### 無利子・長期分割返済…甘すぎる市の対応

山口議員は、不正請求にかかわる市への返還が、無利息・長期分割払いという甘い契約となっている問題について、「病院譲渡では15億円をポンと支払った。昨年7月には名古屋城天守閣にと100万円を寄付し、工藤議員に5年間で約1800万円の顧問料を払っている。そんなお金があるのなら、即刻、残額を一括で返還させるべきだ!」と求めました。

健康福祉局長は答弁で、「返還期間を15年から10年に繰り上げた。また、来年度以降に早期の返還に向けて再度協議を行う」と述べました。

### 市立病院の譲渡先としてふさわしいか

山口議員は、城西病院の譲渡の際に市と同法人が交わした「協定書」に触れ、「少なくとも10年間は市として関与し、同法人を指導・監督する責務がある。必要な調査を行い、疑惑を解明する責務が名古屋市にある」と

指摘。「城西病院の運営を委ねた法人がこれでいいのか。市立病院の譲渡先として問題があるとは思わないか」と質しました。

これに対し河村市長は、いつもの饒舌な答弁とは打って変わり、「法人から適切に返還されているので契約は妥当」「早期返還に向け(来年4月以降の)協議をしっかりとやるよう指示する」などと、事前に用意された答弁メモを棒読みするばかりでした。

### 4度目の答弁で「調査する」(市長)

山口議員は、「法人に対し異常に対応が甘い。(市長と同法人の間に)何かあるのか。市の責任で疑惑を調査すべきだ」と繰り返し追及。

河村市長は4回目の答弁で、「ご指摘を受けて、協議の中で調査していく」と明言しました。

山口議員は、「現場では多くの職員と患者さんが病と向きあっている。その人々を守るためにも厳正な法人運営が求められる」と述べ、問題の解明に真摯に向き合うよう、重ねて求めました。



虚偽報告の偕行会運営を「確認する」  
市議会で一連の問題に言及し、市立病院取得者としての適格性をたじた山口清明議員(共産)に、河村市長は城西病院の運営状況には問題がないとの認識を示した上で「法人ときちんと協議する」と述べた。

山口議員の質問を報じる  
12月1日付「中目」



新聞報道された、「偕行会」をめぐる疑惑の数々